

第104回全国高校野球選手権青森大会

きょうから準々決勝



第104回全国高校野球選手権大会は、17、18日、弘前市はるか夢球場で準々決勝が行われる。3回戦を勝ち上がった8校が阪神甲子園球場で行われる全国大会(8月6〜22日)を目指し、火花を散らす。

勝ち残っているのは、今春県3位の八学光星や昨秋東北ベスト4の工大一、夏は初の8強入りとなった工大二、春王者の青森山田、昨夏覇者の弘学聖愛など7チームで、青森北が唯一のノースイードだ。地区別では八戸、弘前が各3チーム、青森2チームで、十和田、むつ、五所川原はゼロ。公立、私立別では私立6校に対し公立2校と、私立の強さが際立っている。

準々決勝を展望すると、17日の第1試合では第1シードの青森山田と弘前工が対戦。青森山田は失策1ながら1試合平均の失点が8チーム中最多で、投手陣の奮起が欠けない。弘前工は、主戦の成田晴風を中心に投打でまとまっており、逆転の芽もありそうだ。

第2試合は青森北が弘学聖愛に挑む。青森北はチーム打率が8チーム中2位。残留数が多いだけに、好機を着実に生かせるか。弘学聖愛は葛西倅生と津川凱の投手2本柱に安定感がある。打線は粘り強い。昨夏の全国大会経験者も多く、総合力は高い。

18日の第1試合は、八学光星が東義を迎え撃つ。八学光星は2試合で失策1、失点2と守りは堅実。打線が本来の調子を取り戻せるかが鍵を握

<準々決勝進出校のチーム成績>

チーム	試合数	打数	安打	長打			打率	打点	三振	四死球	犠打	盗塁	失策	併殺	残塁	総得点	総失点
				本	三	二											
青森山田	2	62	19	0	2	6	.306	15	9	17	4	3	1	2	18	17	10
弘前工	2	63	23	0	1	6	.365	12	10	7	6	5	2	0	19	14	5
工大二	2	54	15	0	1	3	.278	8	6	6	12	13	2	1	13	8	2
工大一	2	57	22	0	1	3	.386	16	6	14	9	9	4	1	18	19	8
八学光星	2	49	15	1	0	3	.306	10	4	10	9	2	1	0	15	10	2
東義	2	52	17	2	0	3	.327	13	4	9	4	4	1	1	13	13	1
青森北	3	94	36	1	1	6	.383	27	10	21	9	11	7	1	28	31	13
弘学聖愛	2	67	20	2	0	5	.299	16	13	8	3	7	2	1	15	18	8

【はるか夢】
 準々決勝
 青森山田・弘前工 11:00
 青森北・弘学聖愛 13:30

きょうの試合

高校野球速報

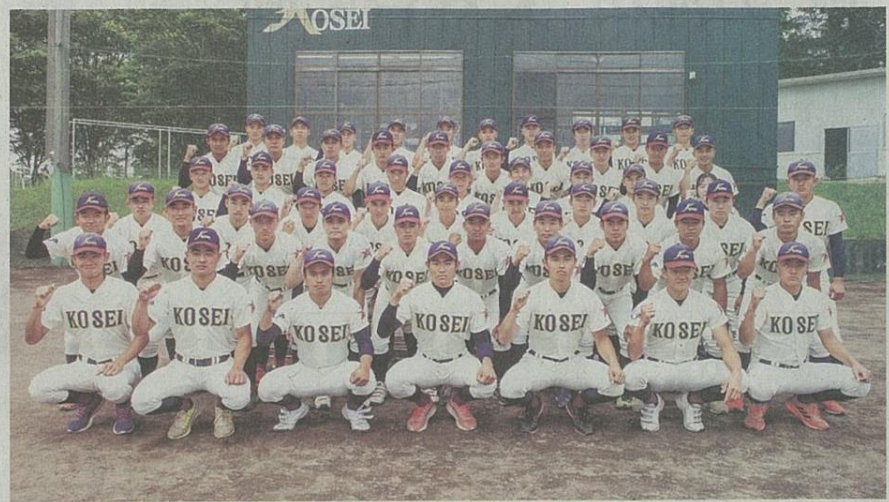
第2試合は工大一と工大二の系列校対決。工大一はチーム打率が8校中1位だが、4失策は不安材料だ。工大二は打率が8校中最下位だが、犠打飛と盗塁は突出する。両校とも小技を駆使した攻撃が持ち味。投手を含めた守りの出来が勝敗を左右しそうだ。

予定通りに進めば、20日に準決勝、22日に決勝が行われる。今大会は3年ぶりに観戦者数の上限を設けていない。(取材班)

第104回全国高校野球選手権大会
 岩手大会

雨で4試合順延
 第104回全国高校野球選手権岩手大会は16日、金ヶ崎町しんきん森山スタジアムと花巻市花巻球場で予定されていた2回戦計4試合が雨のため17日に順延となった。これにより、3回戦(決勝)の日程は1日ずつ繰り下がり、決勝は24日となる。(上村公信)

Cブロック



ボール球の見極め徹底

八学光星・仲井宗基監督 打てない状況が続いている。ボール球の見極めを徹底するなど打撃を改善する。試合展開を見ながら投手6人を使い分ける。どんな試合でも選手たちが最大限の力を発揮してくれればいい。

八学光星

×

東義

チャレンジャー精神で

東義・工藤秀樹監督 一戦一戦成長できている。3回戦はしびれるような展開で守ったので、選手にとって自信になったはずだ。八学光星は走攻守ともレベルが高いチーム。チャレンジャー精神で思い切って戦う。